

平成22年第4回定例会 一般質問

大 菌 藤 幸 議 員	-----	P. 1	
森 正 勝 議 員	-----	2	
持 留 良 一 議 員	-----	3	～ 5
川 畑 三 郎 議 員	-----	6	
池 山 節 夫 議 員	-----	7	
池 之 上 誠 議 員	-----	8	
北 方 貞 明 議 員	-----	9	
宮 迫 泰 倫 議 員	-----	10	

大 菌 藤 幸 議 員

一問一答方式

- | | | |
|---|--------------------------------------|-------------------------|
| 1 | 地域づくりの政策は現実的に | 市 長
関 係 課 長 |
| 2 | 公共工事発注に関わる設計図書の認識について | 市 長
関 係 課 長 |
| 3 | 土木課発注工事の落札額について | 市 長
関 係 課 長 |
| 4 | 垂水市情報公開条例について
(入札後の最低制限価格の公開について) | 市 長
関 係 課 長 |
| 5 | 脇田市木線改良工事の進捗状況は | 市 長
関 係 課 長 |
| 6 | 過去の質疑の検討、研究結果は
地域運営校等々 | 市 長
教 育 長
関 係 課 長 |

森 正 勝 議 員

一問一答方式

1 垂水中央中学校について

教 育 長

垂水中央中学校が開校して8か月になりますが、中学校の現況と課題があれば教えていただきたい。

関 係 課 長

2 バイオマスタウン構想について

市 長

バイオマスタウン構想の現況と今後の展開について

関 係 課 長

持 留 良 一 議 員

一問一答方式

1 8年間を総括的に

(1) 地域経済と地方自治の危機の認識について

市 長

ア 「構造改革」の名による新自由主義の経済政策の影響の認識と対策について

関 係 課 長

イ 「三位一体改革」、「地方分権改革」が自治体の機能（住民の福祉向上という役割・責任）が壊されつつあるが認識と対策について

(2) 「半強制的な合併問題」の見解と評価について

2 TPP参加への参加問題

市 長

(1) 農業や漁業、関連産業と雇用・地域経済への影響試算額はどうか。

関 係 課 長

(2) 行政として対応や取組は

3 雇用失業対策と経済対策問題

市 長

(1) 経済対策問題

関 係 課 長

ア 市内の経済状況の認識と対策の必要性は

イ 一般会計補正予算案では、対策が取られているのか。（実態状況の判断等から、国等の対策に上積みするなどの市独自の対策が必要ではないか。）

ウ 景気刺激対策としてあらためて提案 住宅リフォーム助成制度

(ア) 調査・研究の動向は

(イ) 全国の進展状況は

(ウ) 秋田県が「支援事業」の分析を実施しているが、結果はどのようになっているか。

(エ) 災害の支援策としても（半壊や浸水等で補償されない市独自の支援策としても位置づけられる。－山口県小野田市）

(オ) 今後の取組の方向について

(2) 雇用対策

ア 若者（高校生も含む。）の取り巻く雇用状況は

(ア) 「若年者の雇用に係る事業主への奨励金制度」（鹿児島市）などの対策の必要性について

(イ) 雇用相談体制の対応及び充実の必要性は

イ 市独自の失業事業対策の必要性は（中高年対策）

4 子育て支援とくらしをまもる問題

市長

(1) 失業や生活苦等で保育料が払えない場合の自治体の対応について

関係課長

ア 保育料滞納等の理由（失業・減収・生活困窮等）

イ 平成7年3月の厚生労働省（旧厚生省）の「通知」「保育所の費用徴収制度の取扱いについて」の内容は

ウ 実態や「通知」から子育て支援やくらしを守る立場（行政の責務として）で具体化（取扱要綱の作成）する必要があるのではないか。

5 障害者（児）問題

市長

(1) 特別支援学級の施設・設備の整備

教育長

ア 現状の認識と対策について（教育上・環境上・身体上等、必要な施設・設備に問題ないか。）

関係課長

イ 保護者の声や要望の把握はされているか。

(2) 障害者自立支援法－地域生活支援事業について

ア 地域基盤整備、所得保障策、就労・雇用の支援などを含め、障害者の実態やニーズを的確に把握し、障害者の自立を支える上で十分な施策の整備目標や取組になっているか。

イ 制度アクセスへの保障・利用料減免など拡充や適正な支給決定の仕組みはできているか。

ウ 障害者計画と障害者福祉計画の整合性は、図られているか。

6 消防の広域化問題

市長
関係課長

(1) 「広域化」で消防力は、強化されるのか。

ア 当初の「広域化」の理由、「財政的問題」との今日的
参加理由との整合性は

イ メリットの検証 消防体制の基盤強化となるか。

川 畑 三 郎 議 員

一 括 方 式

1 二期八年間をふりかえって

市 長

池 山 節 夫 議 員

一 括 方 式

- | | | |
|---|--------------------------|------------------|
| 1 | 水迫市政について | 市 長 |
| | (1) 2期8年間の市政運営について | |
| | (2) これからの垂水市政について | |
| 2 | 学校教育について | 教 育 長
関 係 課 長 |
| | (1) N I E活動について | |
| | (2) 家庭N I Eについて | |
| | (3) 市内小中学校でのN I Eの取組について | |
| | (4) 土曜チャレンジスクールについて | |
| 3 | 観光について | |
| | (1) 森の駅たるみず猿ヶ城溪谷について | 市 長 |
| | (2) 刃剣山登山について | 関 係 課 長 |
| 4 | 地域活性化、きめ細やかな臨時交付金事業について | 市 長
関 係 課 長 |
| | (1) 事業の全体像 | |
| | (2) 地域住民の反応 | |

池 之 上 誠 議 員

一問一答方式

- | | | |
|---|--------------------------------------|---------|
| 1 | 二期8年間の成果と垂水市政の今後 | 市 長 |
| | (1) 水迫市政で残してきたもの(実績)と次期市政に引き継ぐもの(宿題) | |
| | (2) 後継者不擁立の真意 | |
| 2 | 「子ども・子育て新システム」学童保育の今後 | 市 長 |
| | (1) 新政策の内容と本市の現状と将来の方向性 | 関 係 課 長 |
| 3 | 高校再編基準の見直しによる垂水高校の今後 | 市 長 |
| | (1) 新基準の内容と垂水高校存続への影響 | 教 育 長 |
| | (2) 今後の垂水市としての取組 | 関 係 課 長 |

北 方 貞 明 議 員

一問一答方式

- | | | |
|---|--|------------------|
| 1 | 水迫市長二期8年間
（1） 市民に対して誇れること
（2） 次期市長に託すこと | 市 長 |
| 2 | 農水産関係について
（1） インゲン等のブランド化は
（2） 修学旅行生民泊 今後の問題点は | 市 長
関 係 課 長 |
| 3 | 教育関係について
（1） 図書館の年末年始の休館の改善は | 教 育 長
関 係 課 長 |
| 4 | 財政関係について
（1） 財政調整基金と滞納額の対応は | 市 長
関 係 課 長 |
| 5 | 生活環境関係について
（1） 臨港道路は、断念か。
（2） 公道上のガソリンスタンドのその後の経緯は | 市 長
関 係 課 長 |

宮 迫 泰 倫 議 員

一問一答方式

安心安全なまちづくりについて

1 自主防災組織について

市 長

(1) 自主防災組織達成率の状況は

関 係 課 長

(2) 市長として努力したことは

(3) まだやりとげてないことは

2 垂水市自主防災連合会組織が結成されたことについて

市 長

(1) この連合会組織に期待することは

関 係 課 長

(2) 今後危機管理監は、必要かどうか。

3 臨時職員の着服について

市 長

(1) 事後策は

関 係 課 長